



フリーアナウンサー 吉田照美さん

カツシカデシカで盛り上げたい

プロフィール



吉田照美さん

昭和26年1月23日生まれ。立石出身。昭和49年、文化放送にアナウンサーとして入社。『セイ!ヤング』や『てるてるワイド』などの人気番組のパーソナリティーとして活躍。昭和60年、文化放送を退社してフリーアナウンサーとなり、現在はテレビなどでも活躍中。

した。テレビだと一目瞭然なんですよ。でも、テレビでもすぐに分かってしまう。でも、テレビよりも、想像させるメディアって素晴らしいと思うんですよ。聞いている人の数だけ頭の中の映像は違ってくるし、想像しながら聞くことは、そこに参加していることにもなりますよね。

一朝一夕ではどうにもならないもので、深夜放送を聞いて研究したり、好きなアナウンサーの真似をしたりしていました。そのうちアナウンサーになりたいとか、ディスクジョッキーになりたいとか、当時としては大それた夢をひそかに持ち続けるようになっていったんですよ。

葛飾の思い出

昨年から葛飾区の広報番組『カツシカデシカ』でナレーションをやらせていただいています。この番組、内山くんがいきなりキャラクターですよ。寅さんみたいな雰囲気があつてうらやましいです。自分ながらいいコンビだなと思ってるので、ぜひ永久に続く番組にしていただきたいなと(笑)



カツシカデシカ収録スタジオにて

それと、いや〜時代は変わりますね。小学2年の1学期まで葛飾小学校に通っていたんですが、引っ越したこともあって、その頃見えていた立石や青戸の景色が

子ども時代に聞いていたラジオ

世代的にテレビが家に無い環境の子どもの時代で、家では、浪曲や相撲中継のラジオがよく流れていました。相撲が好きでよく聞いていたのですが、実況からどんな力士なのか想像していま

アナウンサーになるきっかけ

実は内向的な性格を何とかしたくて、大学でアナウンス研究会に入ったんです。そのときはアナウンサーをめざしていたわけではなかったのですが、大学1年の夏の合宿で何もしゃべれず、大恥をかいてしまつて。そこで翌年は雪辱を晴らすと、アナウンスの専門学校に通って本格的に勉強するようになりました。ただ、しゃべりつていうのは

新年の抱負

昨年はカツシカデシカや寅さんサミットにも出させていただきました。葛飾って分かりやすく言うとなんか『寅さん』だったり、亀有の『こち亀』だったり、人を楽しませることができものがあふれている街だと思います。これからもそんな葛飾の魅力を発信するお手伝いができればなと思っております。

それと、いい歳になったので、一年一年を大切に過ごしていきたいですね。

プロフィール



加納遼大選手

平成4年5月10日生まれ。堀切出身。葛飾ラグビースクールでラグビーを始める。茨城県の常総学院高校で全国高校ラグビー大会出場。明治大学を卒業後、現在は明治安田生命ホーリーズ(ジャパンラグビートップイーストリーグディビジョン1)所属。7人制ラグビー日本代表。173cm/72kg。

3歳から始めたラグビー

父がラグビー好きで、3歳のときに兄と一緒に葛飾ラグビースクールに入りました。正直言うと、入らされたと言った方が正しいですね(笑)。それでも、柴又のグラウンドに行くのが、ラグビーって楽しいなと思ってるので、今の子どもたちにも同じような体験をたくさんしてほしいと思います。

たまに帰っています。子どもの頃と大きく街が変わったというイメージはなくて、あたたかい街だなと思えます。街中が親戚みたいによくしてくれる街だと思いついて友達と遊んでいた思い出があります。僕は、そういうところでも他の小学校の友達が増えたりしたので、今の子どもたちにも、同じような体験をたくさんしてほしいと思います。

まずは一つずつ目の前のことを頑張つて、7人制ラグビーワールドカップで日本代表に選ばれ、出場する機会を勝ち取りたいです。ベスト4以上はめざしたいですね。

子どもたちへ スポーツでも勉強でも、やっていて楽しいなということを見つけてほしいです。勝ち負けにこだわることでも、大事だけど、まずは楽しんでほしい。楽しまないと勝負も本気になれないと思います。僕もラグビーを楽しんでいます!



子どもたちへ



葛飾ラグビースクール時代の葛飾(ボールを持ってるのが加納選手)

葛飾は今もあたたかい街

今でも堀切の実家には、

7人制ラグビーは、日本代表に選ばれたことをきっかけに本格的に始めました。7人制では新しい発見が結構あって、さらにラグビーが楽しくなつたなと思っています。普段のトレーニングや鍛え方も全然違いますね。7人制のときは15人制よりも瞬発力が必要と考えているので、それに特化し

7人制ラグビーとは

15人制と同じ大きさのフィールドでプレーする。人数が少ないため、肉体的な強さよりも瞬発力や持久力が必要とされている。また、15人制の試合は前後半各40分に対し、7人制は原則前後半各7分で行われる。夏季五輪正式種目。なお、今年7月にワールドカップがサンフランシスコで行われ、日本は男女とも出場権を獲得している。

7人制ラグビー日本代表

ラグビーの楽しさを葛飾で学んだ

加納遼大選手

たトレーニングをやったりしています。

社業との両立と練習の工夫

平日は、仕事をしてから、午後5時以降に練習をしています。代表合宿などは、1時間30分前後の練習ですが、その後10分間の個人練習で、筋トレなど毎回何をするかを決め、有効に使えるようにしています。

です。また、ラグビーボールは楕円形でどこに転がるか分かりませんが、『努力した人のところにボールは転がる』というラグビー界では有名な格言があり、僕もそうなるように努力します。もちろん明治安田生命のチームでも頑張ります!